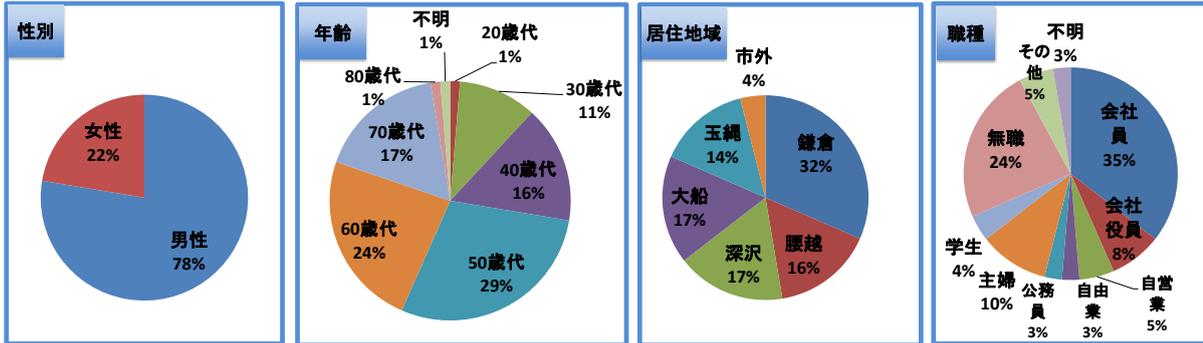


第15回市政e-モニターアンケート集計結果

【テーマ】 エネルギーに関する市民意識調査について

アンケート送信日 平成25年 8月 8日 (木) (未着者再送 8月 13日 (火))
 アンケート実施期間 平成25年 8月 9日 (金) ~ 8月20日 (火)
 送信者数 260名 (着信者数 257名)
 回答者数 76名
 回答率 (対着信者数) 29.6%

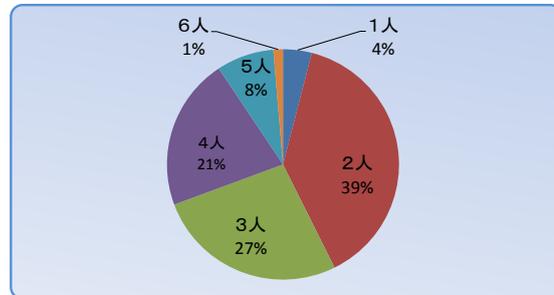
【今回の回答者の基本属性】



1. ご自身や世帯の状況について

●質問1-1 ● 世帯の人数（あなたを含めた世帯全員の人数）はどれですか？

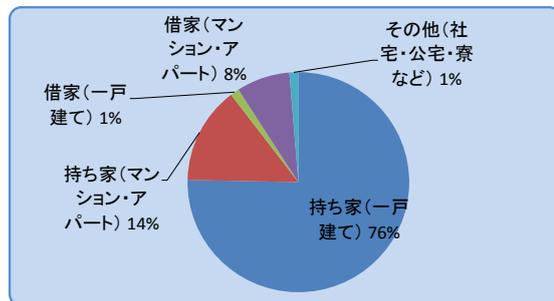
	(名)
ア 1人	3
イ 2人	29
ウ 3人	20
エ 4人	16
オ 5人	6
カ 6人	1
キ 7人	0
ク 8人以上	0



《環境政策課 環境政策エネルギー担当から》
 2~3人の世帯人数の割合は、全体の約65%を占めており、回答者基本属性の年齢割合から見ると50代から60代の夫婦世帯、もしくはその子どもから成る世帯が多いのではないかと推測します。

●質問1-2 ● 現在、どのような家にお住まいですか？

	(名)
ア 持ち家（一戸建て）	58
イ 持ち家（マンション・アパート）	11
ウ 借家（一戸建て）	1
エ 借家（マンション・アパート）	6
オ その他（社宅・公宅・寮など）	1

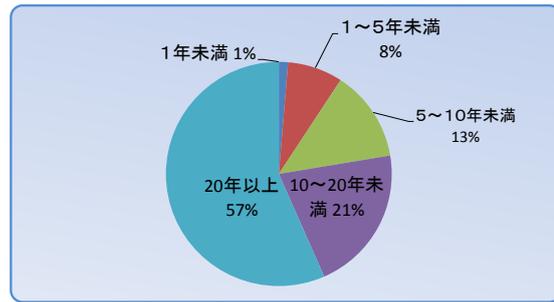


《環境政策課 環境政策エネルギー担当から》
 持家（一戸建て）の割合は、全体の約75%と多く占めており、本市の地域性と相関していることが伺えます。

●質問1-3 ● 本市の居住年数は何年ですか？

		(名)
ア	1年未満	1
イ	1～5年未満	6
ウ	5～10年未満	10
エ	10～20年未満	16
オ	20年以上	43


 <環境政策課 環境政策エネルギー担当から>
 居住年数20年以上が全体の約56%を占めており、回答者基本属性の年齢において、50代から60代の割合が53%であることと関連性があると推測します。

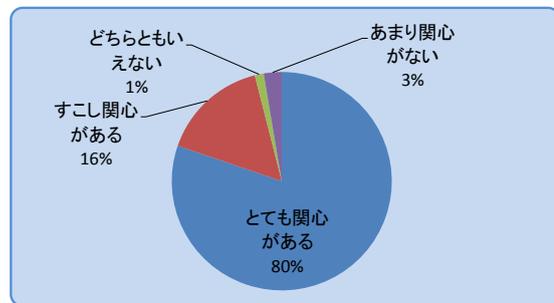


2. エネルギーへの関心について

●質問2-1 ● エネルギー問題や環境問題に関心がありますか？

		(名)
ア	とても関心がある	61
イ	すこし関心がある	12
ウ	どちらともいえない	1
エ	あまり関心がない	2
オ	まったく関心がない	0


 <環境政策課 環境政策エネルギー担当から>
 「関心がある」の回答が、約96%と高い割合を占めることから、再生可能エネルギー等導入関連情報・省エネ対策、地球温暖化対策等に関する情報提供が必要であると感じました。

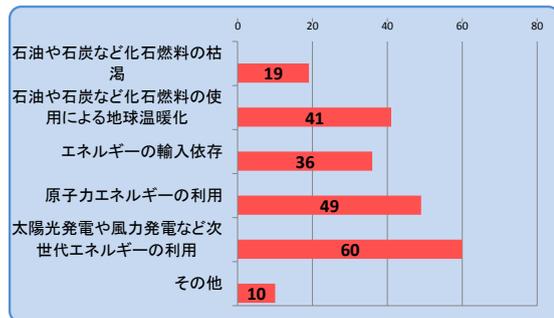


●質問2-2 ● 問2-1でアまたはイと答えた方にお伺いします。次に挙げたエネルギーや環境に関する問題に関心がありますか？（複数選択可）

		(名)
ア	石油や石炭など化石燃料の枯渇	19
イ	石油や石炭など化石燃料の使用による地球温暖化	41
ウ	エネルギーの輸入依存	36
エ	原子力エネルギーの利用	49
オ	太陽光発電や風力発電など次世代エネルギーの利用	60
カ	その他（具体的に）	10

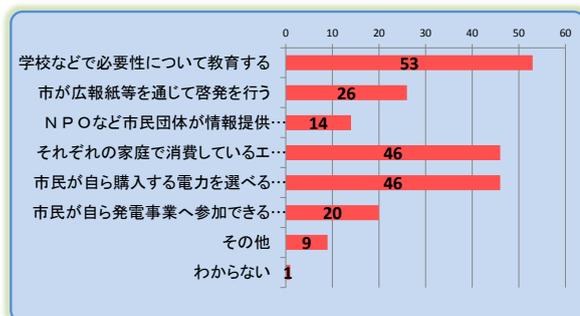
- <その他、回答者からのご意見>
 ・省エネ、節電
 ・エネルギーコスト並びに消費の効率化
 ・新たなエネルギー開発による雇用の創出
 ・廃棄物のエネルギー資源化
 ・自動車等の排気ガスによる大気汚染
 ・エネルギーの自給
 ・太陽光、地熱、風力、波浪、および、廃棄エネルギーや廃棄資源の再利用


 <環境政策課 環境政策エネルギー担当から>
 太陽光や風力など再生可能エネルギー等の導入促進への期待が大きいことが感じられました。



●質問2-3 ● エネルギー問題や環境問題に対して高い意識を広く普及させるためには、どのような手段が有効だと思いますか？（複数選択可）

		(名)
ア	学校などで必要性について教育する	53
イ	市が広報紙等を通じて啓発を行う	26
ウ	NPOなど市民団体が情報提供を行う	14
エ	それぞれの家庭で、消費しているエネルギーの実態がわかるようになるシステムを導入する（エネルギーの見える化）	46
オ	市民が自ら購入する電力を選べるような仕組みをつくる	46
カ	市民が自ら発電事業へ参加できるようになる仕組みをつくる	20
キ	その他（具体的に）	9
ク	わからない	1



《その他、回答者からのご意見》

- ・何をしても市民の資質で大きく左右されると思います。
- ・電力会社と経済との繋がりについて広く啓蒙する。
- ・世界の状況の情報の提供。
- ・市民や企業のいろいろな取り組みの紹介や広域行政レベルでの普及活動。
- ・電力等使用するエネルギーの総合的な環境負荷・コストを明確に開示することにより、一般人にも意識を持たせる。
- ・コストと利便性の問題がネックであり、意識の低さが問題と考えているなら、ずれていると思う。
- ・各年齢層に向けた手段が必要なので、それぞれが有効と思う。
- ・エネルギー自給に向けた行政と市民のコラボ体制の強化。
- ・メディアの報道が政権に都合よく偏り過ぎである。記者クラブを廃止すべき。



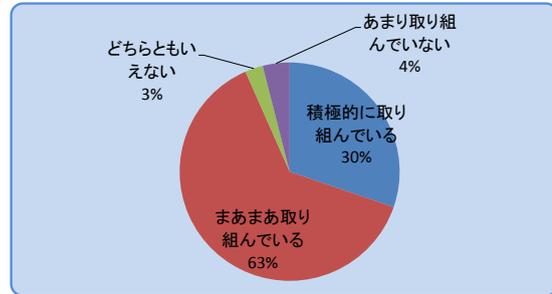
《環境政策課 環境政策エネルギー担当から》

子どもの頃から学校の環境教育としてエネルギー問題に触れること、また日常的にエネルギーの見える化を行うことが意識向上へつながることが伺えました。さらに、個々の家庭においても今後、電力契約が自由化されればさらにその効果は拡大するものと考えられます。

3. ご家庭での省資源・省エネルギーの取組について

●質問3-1 ● ご家庭では、省資源や省エネルギーなどに積極的に取り組んでいますか？

	(名)
ア 積極的に取り組んでいる	23
イ まあまあ取り組んでいる	48
ウ どちらともいえない	2
エ あまり取り組んでいない	3
オ まったく取り組んでいない	0

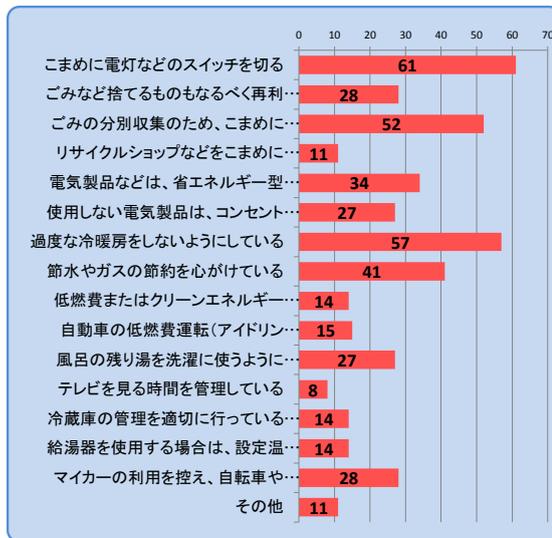


《環境政策課 環境政策エネルギー担当から》

「取り組んでいる」の回答が全体の約93%を占め、問2-1のエネルギー問題や環境問題への関心度と相関が高いことが伺えます。

●質問3-2 ● 問3-1でアまたはイと答えた方にお伺いします。具体的にどのような取り組みを行っていますか？（複数選択可）

	(名)
ア こまめに電灯などのスイッチを切る	61
イ ごみなど捨てるものもなるべく再利用する	28
ウ ごみの分別収集のため、こまめに分けて出すことを心がけている	52
エ リサイクルショップなどをこまめに利用している	11
オ 電気製品などは、省エネルギー型機器など環境性能を考慮した商品への買い替えを進めている（省エネタイプの蛍光灯やLED電球等を含む）	34
カ 使用しない電気製品は、コンセントからプラグを抜くようにしている	27
キ 過度な冷暖房をしないようにしている	57
ク 節水やガスの節約を心がけている	41
ケ 低燃費またはクリーンエネルギー自動車を導入した（予定している）	14
コ 自動車の低燃費運転（アイドリングストップなど）を心がけている	15
サ 風呂の残り湯を洗濯に使うようにしている	27
シ テレビを見る時間を管理している	8
ス 冷蔵庫の管理を適切に行っている（詰め込みすぎない、開閉の回数を減らすなど）	14
セ 給湯器を使用する場合は、設定温度をなるべく低くしている	14
ソ マイカーの利用を控え、自転車やバス・電車など公共交通機関を利用している	28
タ その他（具体的に）	11



《その他、回答者からのご意見》

- ・全ての自動車、バイクを処分し乗らないことにした。
- ・移動には車を使わず自転車。
- ・暑さ寒さに負けない体づくり
- ・生ごみや米のとぎ汁を堆肥利用。
- ・PV、エコキュート導入済み。HEMS検討中。3重窓・木サッシなど高気密高断熱住宅。
- ・タクシーを含め駐車場でのアイドリングを夏・冬含めやめる働きかけを市が中心に進めるべき。全く守られていない。
- ・庭に撒く水は、風呂の水。冷房より水風呂。ヒーターより1枚着るなど。
- ・コンセントの抜き差しはしないがスイッチ付きのテーパータップでON-OFFしている。
- ・早寝、早起き。
- ・深電力利用機器の使用。
- ・ソーラーシステムの活用。



《環境政策課 環境政策エネルギー担当から》

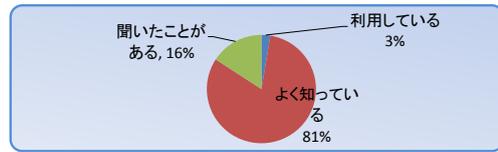
省エネ対策については、あまり負担にならずにできることが日常的な行動となり、エネルギー削減効果につながっていると感じました。また、ごみ分別についても意識が高いことが伺えました。

4. 再生可能エネルギーの普及について

●質問4-1● 地球温暖化やエネルギー問題に対応していく一環として、わが国では太陽光発電、太陽熱、風力発電などの再生可能エネルギーの積極的な導入が進められています。再生可能エネルギーなどについて、あなたは利用していますか、また、どの程度知っていますか？再生可能エネルギーごとにご回答下さい。

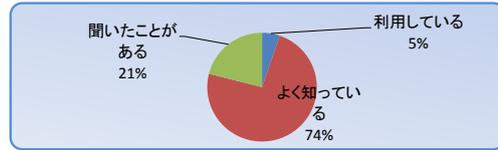
ア. 太陽光発電（住宅用太陽光システム、太陽光発電換気システムなど）

	(名)
1 利用している	2
2 よく知っている	62
3 聞いたことがある	12
4 知らない	0



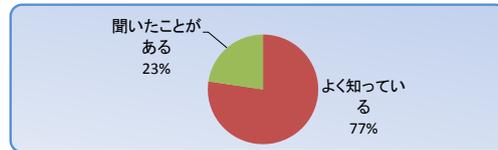
イ. 太陽熱利用（太陽熱温水器、ソーラーシステムなど）

	(名)
1 利用している	4
2 よく知っている	56
3 聞いたことがある	16
4 知らない	0



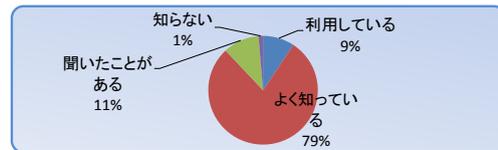
ウ. 風力発電

	(名)
1 利用している	0
2 よく知っている	58
3 聞いたことがある	17
4 知らない	0



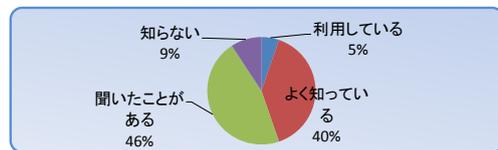
エ. クリーンエネルギー自動車（電気、ハイブリッドなど）

	(名)
1 利用している	7
2 よく知っている	59
3 聞いたことがある	8
4 知らない	1



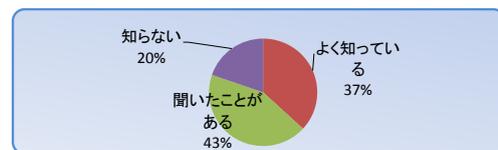
オ. 天然ガスコージェネレーションシステム（エネファーム、エコウィルなど）

	(名)
1 利用している	4
2 よく知っている	30
3 聞いたことがある	35
4 知らない	7



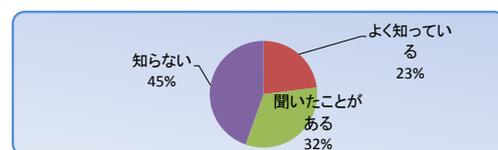
カ. バイオマスエネルギー（ペレットストーブなど）

	(名)
1 利用している	0
2 よく知っている	28
3 聞いたことがある	33
4 知らない	15



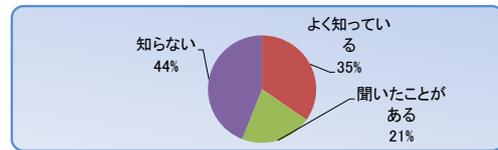
キ. 温度差エネルギー

	(名)
1 利用している	0
2 よく知っている	17
3 聞いたことがある	24
4 知らない	33



ク. 小水力発電

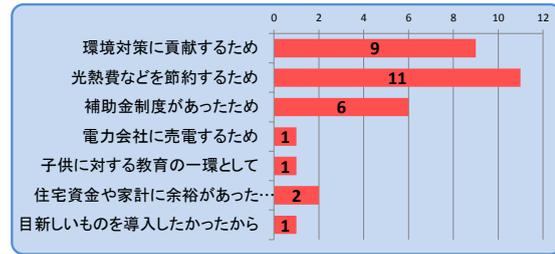
	(名)
1 利用している	0
2 よく知っている	26
3 聞いたことがある	16
4 知らない	33




 <<環境政策課 環境政策エネルギー担当から>>
 ア〜クをまとめて
 再生可能エネルギー等についての認知度は高く、一般家庭でも導入可能と考えられる再生可能エネルギー等については、一定の導入実績がありました。市民が必要としている情報を把握し、より理解を高めるような方法で情報提供をすることが導入推進につながると感じました。

●質問4-2 ● 問4-1で、1つでも「1利用している」と答えた方にお伺いします。どのような理由から、再生可能エネルギー等を使用していますか？（複数選択可）

	(名)
ア 環境対策に貢献するため	9
イ 光熱費などを節約するため	11
ウ 補助金制度があったため	6
エ 電力会社に売電するため	1
オ 子供に対する教育の一環として	1
カ 地域における率先行動として	0
キ 住宅資金や家計に余裕があったため	2
ク 目新しいものを導入したかったから	1
ケ その他（具体的に）	0



●質問4-3 ● 問4-1で、1つでも「1利用している」と答えた方にお伺いします。再生可能エネルギー等を導入する前とした後で、あなたあるいはご家族の意識の変化はありましたか？（複数選択可）

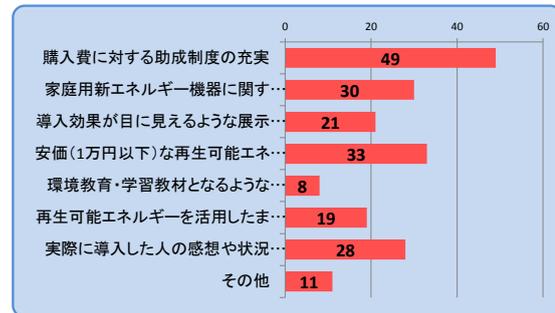
	(名)
ア 環境対策に貢献しているという満足感と充実感が得られるようになった	2
イ 従来にも増して省エネルギーに気を付けるようになった	6
ウ 石油資源の枯渇など、エネルギー問題への関心と取り組み意欲が高まった	4
エ 地球温暖化防止など、環境問題への関心と取り組み意欲が高まった	6
オ 再生可能エネルギーをさらに導入しようという意欲が高まった	5
カ 特に変わらない	5
キ その他（具体的に）	0




 <環境政策課 環境政策エネルギー担当から>
 質問4-2、質問4-3について再生可能エネルギー等の導入理由として環境負荷低減、光熱費節約、補助金制度に多くの該当がありました。導入時は、金銭的なメリットに対する意識の方が大きいかもしれませんが、日々の利用の中で環境負荷への意識も高まるのではないかと推測します。

●質問4-4 ● 今後、ご家庭で再生可能エネルギー等の導入を検討するとした場合、どのような条件が整えば、より前向きに考えられますか？（複数選択可）

	(名)
ア 購入費に対する助成制度の充実	49
イ 家庭用新エネルギー機器に関する情報提供	30
ウ 導入効果が目に見えるような展示会、試用機会の提供	21
エ 安価（1万円以下）な再生可能エネルギーグッズ（太陽光発電充電器など）の紹介	33
オ 環境教育・学習教材となるような再生可能エネルギーグッズ（手回し発電機など）の紹介	8
カ 再生可能エネルギーを活用したまちづくりに向けた勉強会、研究会などの実施	19
キ 実際に導入した人の感想や状況が把握できるような情報の提供	28
ク その他（具体的に）	11



《その他、回答者からのご意見》

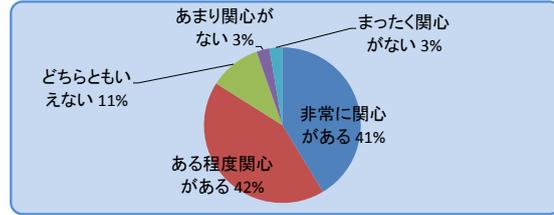
- ・ 導入コストと時期の問題。
- ・ マンションなので、居住者みんなの理解が必要。
- ・ 蓄電池の大幅価格低下など、売電価格の維持向上。
- ・ 新エネルギーが、現在のような「実験室的」でなく、安定した状態で供給されるようになったとき。
- ・ 3世代が住んでいた家の構造から、電気の使用効率が悪い。重電メーカー勤務の経験から節電には、それなりに努めてる。一方、再生可能エネルギーの活用については、個人での取り組みにはソーラーパネルの活用程度であり、限界があります。
- ・ 本体機器価格の価格低減、少なくとも現在価格の5分の1。
- ・ 維持費の助成。
- ・ 現行と同じくらいな費用と利便性があること。
- ・ 再生エネルギーの弱点はコストが全て曖昧な事。風力発電は、環境問題を解決していない。具体的なコスト情報やCO2貢献を明示するべき。電気自動車はCO2削減に効果が少ない。電気自動車は、自ら造った電気を利用し走行可能にして初めて効果がある。
- ・ 再生可能エネルギー産生機器の機能と耐久性の向上。
- ・ テストモニター募集：安価でテスト導入出来る代わりに、使用状況、メリット/デメリットを公開（→キとの連動）。
- ・ イの回答で、鎌倉市単独ではなく、国が積極的に推進すべき。


 <環境政策課 環境政策エネルギー担当から>
 再生可能エネルギーの導入については、高額なコストが大きな課題であり、それに伴い費用回収期間が長くなるため、導入効果が目に見えるような展示会、機器の試用機会の提供や実際に再生可能エネルギー機器を導入した人の感想や状況が把握できるような情報の提供が必要であると感じました。

5. 鎌倉市のエネルギーへの取り組みについて

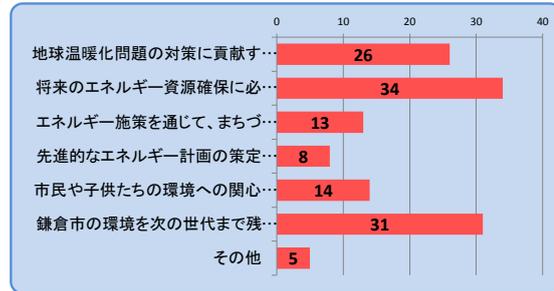
●質問5-1● 鎌倉市のエネルギー問題やその取り組みについて、関心がありますか？

	(名)
ア 非常に関心がある	31
イ ある程度関心がある	32
ウ どちらともいえない	8
エ あまり関心がない	2
オ まったく関心がない	2



●質問5-2● 問5-1でアまたはイと答えた方にお伺いします。それはどのような理由ですか？お考えに近いものを2つまで選んでください。

	(名)
ア 地球温暖化問題の対策に貢献すべきだから	26
イ 将来のエネルギー資源確保に必要なから	34
ウ エネルギー施策を通じて、まちづくりや地域コミュニティのまとまりの向上が期待できるから	13
エ 先進的なエネルギー計画の策定により市を全国にアピールできるから	8
オ 市民や子供たちの環境への関心が高まるから	14
カ 鎌倉市の環境を次の世代まで残したいから	31
キ その他(具体的に)	5



《その他、回答者からのご意見》

- ・電力会社に依存しない生活をしたいため。
- ・原発否定、地域分散型エネルギー供給がベターと考えるから。
- ・鎌倉市の財政の健全化につながるようにして欲しいから。
- ・市の具体的な施策により、家計の費用が節減できるようなことがあれば利用したい。
- ・公的機関により広く環境問題等が周知されることにより、個々の意識が高まる。また、環境を保つ(あるいは向上させる)ためには、ある程度の法や条例による規制も無いと進んでいかないとと思う。
- ・当然に取り組むべきことに取り組むことは、当然。市をアピールするなどの色気で考える話ではない。

《環境政策課 環境政策エネルギー担当から》

質問5-1、質問5-2について
 「非常に関心がある」、「ある程度関心がある」の割合は83%と高く、その理由として主に地球温暖化問題、次世代のための環境保全や将来に向けてのエネルギー資源確保などが挙げられていました。
 エネルギーへの取組については、まちづくり全体を含めて環境負荷低減を併せて進めていく必要があると感じました。

●質問5-3● 問5-1でウ、エまたはオと答えた方にお伺いします。それはどのような理由ですか？お考えに近いものを2つまで選んでください。

	(名)
ア エネルギー施策は、地球温暖化問題などに効果がないから	0
イ 鎌倉市では、新たに導入するよう再生可能エネルギーがないから	6
ウ 投資額の割に効果が少ないから	4
エ エネルギー問題より他に、政策的に大切な課題があるから	5
オ エネルギー問題は国の問題で、地域には関係ないから	3
カ 再生可能エネルギーより省エネルギーのほうが重要だから	4
キ エネルギーについて危機感を感じていないから	2
ク その他(具体的に)	4



《その他、回答者からのご意見》

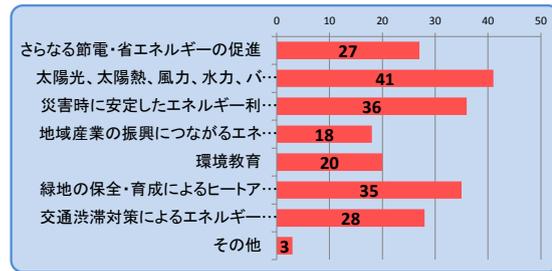
- ・取り組みの内容が分からないから。
- ・少なくとも県レベルの課題で、鎌倉市で現実的な対応は出来ない。
- ・話が壮大過ぎてよくわからない。
- ・市単位でできる問題ではなく、県、国に働きかける問題。

《環境政策課 環境政策エネルギー担当から》

質問5-1、質問5-3について
 「どちらともいえない」、「あまり関心がない」、「まったく関心がない」は、全体の17%で、その理由として新たに導入可能な再生可能エネルギー等は少ないことや他に大切な課題があることなどが挙げられおり、地域レベルでエネルギー問題に取り組むことは、難しいと感じているのではないかと推測します。

●質問5-4 ● 鎌倉市のエネルギー施策において、特に力を入れるべきなのは何だと思いますか？特に重要だと思うものを3つ選んでください。

		(名)
ア	さらなる節電・省エネルギーの促進	27
イ	太陽光、太陽熱、風力、水力、バイオマスなどの再生可能エネルギーの導入	41
ウ	災害時に安定したエネルギー利用ができる環境整備	36
エ	地域産業の振興につながるようなエネルギー施策の展開	18
オ	環境教育	20
カ	緑地の保全・育成によるヒートアイランド対策など環境整備	35
キ	交通渋滞対策によるエネルギー利用の削減	28
ク	その他(具体的に)	3



《その他、回答者からのご意見》

- ・ 近隣自治体とのコラボレーション。
- ・ クリーンエネルギー自動車優先した自家用車での観光の規制。交通渋滞の解消にもつながる。
- ・ 自転車利用の推進により、排気ガスを抑える。特にバイクの排気ガスが気になる。電気バイクや電気自転車購入の補助があればこちらの利用者が増えるのでは？



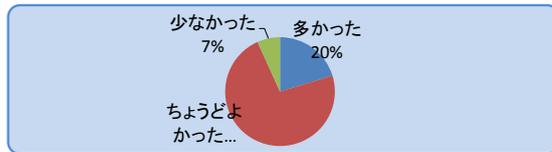
《環境政策課 環境政策エネルギー担当から》

再生可能エネルギーの導入推進、災害時のエネルギー確保、ヒートアイランド対策を含めた緑地の保全について重点的に進めていく事項であることが伺えました。

6. このアンケートについて

●質問6-1 ● このアンケートの分量は適当でしたか？

		(名)
ア	多かった	15
イ	ちょうどよかった	54
ウ	少なかった	5



●質問6-2 ● このアンケートは分かりやすかったですか？

		(名)
ア	分かりやすかった	37
イ	どちらともいえない	29
ウ	分かりにくかった	7



●質問6-3 ● 問6-2でイ、ウと答えた方にお伺いします。このアンケートのどこが分かりにくかったですか？あてはまるもの全てを選んでください。(複数選択可)

		(名)
ア	いくつ回答したらよいか、分かりにくかった	5
イ	文章が分かりにくかった	5
ウ	専門用語が多くて分かりにくかった	2
エ	内容が難しくて分かりにくかった	3
オ	その他(具体的に)	25



《その他、回答者からのご意見》

- ・ 設問と選択肢との関連が判り難いものが有った。
- ・ 天然ガススコージェネレーションシステムなどの内容が分からない。
- ・ 自分の考えにきっちり合う選択肢が少ない項目がある。
- ・ 質問の順番をもう少し考えた方がよい。
- ・ 市の目指している方向性が不明。
- ・ 鎌倉市としての背景、目的が不明。
- ・ 前問の「その他」で次の質問を答えてしまったりした。重複に近い設問あり。
- ・ 鎌倉市の地産地消...というのが具体的に何をどうしようと考えているのかが見えないから、単に一般的な愚問に近い設問が多い。
- ・ 質問4の中で、「知っている」という選択肢を加えるべきだと感じた。
- ・ 質問6-3が訊ねている意味が分かりにくかった。
- ・ 専門用語の簡単な解説があると分かりやすい。
- ・ 質問4-1の回答選択肢で「利用している」と回答する割合が少ないのではないかと。そもそも副次質問の設定においては、ある程度回答率を見込んで設定すべきだが、その辺りが考慮されていないのは調査上問題があると思う。
- ・ 自分に該当する選択肢がなかった。
- ・ 全角カタカナでの回答。数字の方が入力しやすい。質問に対しての選択肢のヒントがずれている。
- ・ カタカナ入力が面倒だった。
- ・ 具体的に質問が多い。
- ・ 5-3の質問が5-1のすぐあとになかったため。
- ・ コスト意識が弱すぎる。
- ・ 特別に回答に工夫がされているとか分かりにくいということではなく世間一般のアンケートと比べ可もなく不可もないという意味です。

- ・鎌倉市で効果的で現実的な対応が出来るとは思わず、アンケートをとる意味がわからない。
- ・内容は良いのだが、回答時に文字変換をする必要が無い方がよい。
- ・質問4-1の選択肢は選びにくかった。
- ・具体的に施策の提示もないのに判断を求めている。
- ・しいて言えば、質問5-3。
- ・説明不足の感がある。例えば「キ。交通渋滞対策によるエネルギー利用の削減」とあるが、多分これはパーク&バスライドの事を言っているのだろうと思うが、説明がないと良く意味が掴めないのでは？
- ・市が何をしようとしているのかが良くわからない。アンケートの内容も妥当なのかかわからないまま回答したような感じ。
- ・設問の分岐がわかりにくく、設問数が多い。


 <環境政策課 環境政策エネルギー担当から>
 質問6-1、質問6-2、質問6-3について
 アンケートの分量や内容は適当であったように見受けられましたが、分かりにくい用語も多く、エネルギーに関する事項について、全般的にわかりやすくコラムを入れるなどの工夫が必要と感じました。

7. ご意見・ご感想等

●質問7-1● 今回のアンケート調査やエネルギーに関するご意見・ご感想を自由にご記入ください。また、再生可能エネルギー利用に関し、取り組みたいことがありましたらお知らせください。【自由記載】

- ・再生可能エネルギーの導入・利用は既存エネルギーに比しコストが同等以下であることが前提で、財政難のおり市が助成すべきものではないと思う。地産地消も同様で、地域外に安価高品質のものがあればそれを積極的に採用すべきと思う。(それが地域の活性化につながる)
- ・もっとも、緑地、里山の保全に努力してほしい。ナショナルトラスト運動を率先して取り組んでください。鎌倉市の行政側は古都における歴史的風土の保存に関する意識が低いのではないのでしょうか？特に昨今の鎌倉山の景観は酷すぎます。
- ・東日本大震災の起こる前に、原発に頼らないエネルギーの重要性との観点から、自宅屋根に太陽光発電設備を設置した。将来を読んだ考え方の正しかったことを実感した。鎌倉市内の太陽光設置は余り進んでいないのだが、最近では設備費用もかなり減っているようでもあり、より積極的に自然エネルギーを推進するよう広報活動を進めてはどうかと思う。北欧地域での自然エネルギー開発は、進歩しており、風力はもとより、波力、バイオマス、水素、メタンガス等々、多岐にわたる開発・研究・実施に踏み切って成果を上げている。その過程で、施設の近隣家庭に余熱を使った電気や給湯を行なうなど、市民に賛同をえながら開発を進めている状況は、行政にとって参考とすべき点が多いと思う。
- ・鎌倉の環境を守るためにも、もっと踏み込んだ内容のアンケートにすべき。
- ・「鎌倉市のエネルギー施策」という概念がよくわからない。「国のエネルギー施策」ならわかる。人口10数万の鎌倉市において考えられることの範囲は限られてくる。もっと具体的に考えないといけないのではないか。その意味で、アンケートの各質問事項が何を考えるためのものか理解に苦しむ。市民の考えが国民の平均的な考えと乖離しているか、どちらかに偏っているかを調べて何の実効性があるのか理解できない。
- ・緑の鎌倉が永遠に続くためにもっとエネルギー政策を充実させた方がよい。
- ・環境保全が目的ではあるが、そのための経費は出来る限り市内・近隣地域・県内で支払われるようにすべき。そのため、計画には産業の協力が必要で、必ず事業者を入れておくべき。セキュリティ面からもエネルギーの地産地消をできるだけ進めたい。ドイツ、シェーナウの発電事業や交通・グリーンベルトなどを含め、フライングも参考となる。国費を何とか取ってくる論理構成ど「役者」の確立！
- ・福井県若狭方面に行き、有名な「もんじゅ」の内部施設を見学出来ることになった。私は原子力賛成派ではないが、日本にある原子力発電に興味があり、福島原子力発電のように無関心では済まされないので、この目で確認をしたかった。自分ひとりでは何も出来ないけれど、私たちが生きていくため生活するためのエネルギーを皆が意識を持っていたことが大事だと思う。
- ・バイオマスは非現実的だと思う。焼却施設の老朽化が問題となっているが、新たな施設を作るならゴミの焼却熱を利用するのがいいと思う。
- ・本アンケートは単なる現状を確認するのか、市の本施策の具体的方策作成について市民に協力、示唆を求めるのかが不明確です。本計画の方向性並びに諸施策が1つでも早く市民に開示されることを望むとともに、改めてそれに対する市民のコンセンサス具合をアンケートされる事を期待します。
- ・国レベルで未決定事項が多いので、逆に地方自治体レベルからどんどん問題提起して国に圧力をかけた方がよい。
- ・鎌倉市の再生可能エネルギーや資源の再利用など、市民や市内の企業が参加できるような会議やコミュニティがあれば教えていただきたい。
- ・新エネルギーについて、生産面からは、現在では実験的(コスト高)な感じを受ける。今、安全で効率が良く、より安定生産性の高い手段の発見と、一層「エネルギーの大量保存技術」の開発が望まれる。
- ・原発利用は駄目なので再生可能エネで地域振興を目論んでください。鎌倉市平和宣言を生かす為にもクリーンエネに取り組めば、世界遺産より凄いな町になる。すべての世帯が原発なしで生活している町に。そんな市長を先頭にすれば、世界のカマクラに。
- ・鎌倉市単独でどこまでエネルギー対策が可能なか少々疑問。基本計画ができた段階で意見募集(パブコメ)して下さい。
- ・このようなアンケートを取る条件として、白紙で望むのではなく、市の目指している方向性や具体的提案をある程度示して行うべきである。文書ばかりでなく、イラストの方が分かりやすく、回答がしやすい。
- ・市による再生可能エネルギーへの取り組みレベルがゴミ処理の新設備導入検討や、大規模の事業構想を対象とするや、戸別単位での施策を想定するのかが曖昧なままアンケートに回答しました。冒頭説明中の「策定」「地域特性」と設問に結び付きが弱く、もう少し具体的想定事例を取り入れた方がよいと感じた。
- ・原発の恐さと思うと、代替自然エネルギーの開発が大事と思う。取り合えず、太陽エネルギーを考えているが、需要が技術の進歩を早めると思う。
- ・本アンケートは、「～計画策定の基礎資料とさせていただきます」との位置付けとありますが、(1)一般市民は、言葉は知っているが内容は知らない装置やシステムが多い(「再生可能エネルギー」すら)。(2)環境に前向きな姿勢は取りやすいが、実践はしない方が多い等の理由で精度が落ちるのではないかと。本音を引き出せる工夫が必要と感じる。
- ・通り一遍で当たり障りなく、意味のある回答を求めているように思えない。「市としてどうしようと考えている。」あるいは「市としての選択肢がいくつかあり、それぞれについてどう評価・改善すべきか」と具体的なことを聞く必要があると考える。二酸化炭素の出ないクリーンエネルギーと言われた原発だが、その発電所の建設から、廃炉後の現状復帰や使用済み燃料・機材・水等の最終処分まで多大な費用と環境負荷を要することなども考える必要がある。これは、ハイブリット車や電気自動車の電池、太陽光発電のパネルなどにもいえることであり、明示して聞かないと、単なる誘導的な質問、あらかじめ立てた結果に導くだけの質問になりかねない。そうすると「環境教育」が必要となるが、今後の施策を判断すべき成人に対しては機会もなく、実効ある伝達も難しいので、こういうアンケートでも、確りとした解説を用意し、その結果で回答させるとか、具体的な施策の選択肢の中から選ばせる、といった工夫が大事と考える。
- ・再生可能エネルギーを市が中心となって取り組むことは必要だが、問題なのは市民に再生可能エネルギーに関する利用需要があることであり、利用へのアクセスがしやすいことも前提である。市は利用者への補助だけでなく、利用するメリットを広めていくことが必要である。
- ・市の取り組みおよび将来の計画を提示してほしい。
- ・今後市内でマンション建設や大規模宅地造成などの際は、再生可能エネルギーを活用した他市に先駆けたモデル事業を行ってほしい。
- ・なぜ、市政の課題としてこのようなテーマを取り上げるか、理解が難しかった。もっと、市として取り上げるべき課題はいっぱいあると思う。一例だが、鎌倉の市街地は残念ながらとても統一感がなく、街として美しい。また、市長、市議会、市の幹部は、市の10年後、20年後に對してどのような夢を持っているのか伝わってこない。こうところが、市として取り組む優先課題だと思ふ。
- ・地球規模での解決、一人ひとりが取り組んでいかなければならない喫緊の課題と思う。一市民としてどう取り組むべきか真剣に考えたいと思う。
- ・市民ソーラーオーナー制度に参加してみたい。市が「屋根貸し」ではなく、市の財産としてオーナー制度を発足させて、発電量などは随時HPで見れるなどしてはどうか。
- ・「エネルギー基本計画」の策定に取り組んでいるという事に驚いた。市は公共施設が充実していない(特に鎌倉地区の図書館、体育館、プールなど)のに、海岸のネーミングライツ権など、これ以上鎌倉を荒らさたくなっている古くからの市民が犠牲になるような話題性重視の施策ばかりを打ち、観光客や県外に本部を置くような外部業者ばかりが良い目を見て、まったく市民の生活に反映されていないと思う。エネルギー基本計画など、大きな計画を打てば、それこそ外部市民団体や識者など多くの鎌倉の生活を良く知らない者が入り込み、街並みを変えられてしまうのではないかと。国政レベルの大きな計画を立てる前に、市民が誇りを持って生活できる、鎌倉の景観維持に力を入れてください。
- ・省エネ・再生可能エネルギー利用などに関しては、市、学校はじめ消防・警察ほか公共機関が先ず率先実行して市民にやる気を起こさせることが大切だと思う。次に、実施にあたり、補助金などで市民の負担を軽減することが必要。児童も巻き込んだ環境教育も重要だと思う。
- ・特に自然災害時にエネルギーを確保するための施策として、再生可能エネルギーの開発および活用を検討していくこと
- ・市民の中には知識をお持ちの方も大勢いるので、テーマ毎に話し合う希望者を募り、協力を得るのはいかがでしょうか。
- ・家庭でできることに条件がつくので、アンケートで傾向を探るには難しいテーマと思う。谷戸の街鎌倉には緑は十分にある。これを有効に使って涼しいまちづくりをすること。由比ヶ浜一関谷幹線道路を速く開通させ、交通渋滞による排ガスと温度上昇を抑え、省エネをあることを提案します。
- ・鎌倉には海があるのでこれを利用して発電の出来る仕組みを検討出来るのではないかと。また、設置場所の問題もあるが、風力も可能性があると思う。

- ・アンケートを実施し、市民が回答することにより環境問題を考える良い機会になると思う。市民一人ひとりの意識を変えていくことが重要である。また、公的機関がリードしつつ良い環境を守り、改善していくことが良い方法だと思う。
- ・新聞で市内のいくつかの小学校の屋上を太陽光発電の装置を置くために貸し出すという報道を読んだ。玉縄小を訪れた時にソーラーシステムを見つけ、うらやましく思った記憶がある。おもしろい取り組みなので、全小中学校でやれば良いと思う。
- ・環境問題の観点として、夏は常に市内はゴミで溢れます。海の家の問題として、藤沢市などの音規制になぜ踏み切らなかったかわからない。今年は例年にも増してゴミの量が多く、海岸線は人にあふれ、泥酔観光客が溢れ、若宮大路を外れた生活道路にも同様な光景があった。大きな問題もいろいろ、住民目線の問題にも取り組んで欲しいと思う。来年の海の家は、必ず規制を。観光客をコントロール出来なければ、昔の鎌倉に戻ったほうが良い。
- ・①公共施設の屋根にソーラーパネルを設置することを推進して欲しい。
②東京都のように東京電力以外の会社との契約を個人でもしやすくして欲しい。
③省資源の観点から海水浴客が放置・廃棄していくビニールシート・クーラーボックス・ビーチサンダルなどを無くしたい。必ず持ち帰らせるか、市民に排他者責任を求めるのと同様、廃棄は有料、放置は罰金にしてほしい。
- ・エネルギー問題をエネルギーだけで捉えないで、様々な他のテーマ(食糧、教育、高齢者、少子化等)との連携による総合的な地域マネジメント方法を考えて欲しい。



《環境政策課 環境政策エネルギー担当から》

地域で考えるエネルギー問題は、当然のことながらエネルギー需給のあり方だけに留まるものではなく、身近な生活を通じた環境問題としてまち全体のあり方から考えていくことが重要であると感じました。



《環境政策課 環境政策エネルギー担当から》

本市では、これまで主に地球温暖化対策として省エネルギーや節電対策などに取り組んできました。しかし、東日本大震災を契機にエネルギーの重要性があらたに認識されることになりました。これまでの取組に加え、地域特性に合った独自のエネルギーの安定確保や効果的なエネルギー利用を推し進め、市民生活や産業活動を支えていくことが大きな課題となっています。今回のアンケート結果から、日常において様々な省エネ・創エネの取組をされていることがわかりました。市としてエネルギー問題を幅広い視点で捉え、横断的な共通項目として施策を進めていかなければいけないとあらためて感じました。今後、皆様からいただいたご意見を参考にして、エネルギーに関する情報のご提供や省エネ・創エネの取組を進めてまいりたいと思います。

この度、ご協力いただき誠にありがとうございました。

環境部 環境政策課 環境政策エネルギー担当

【お問い合わせ先】

鎌倉市 経営企画部 秘書広報課 広聴担当
〒248-8686 鎌倉市御成町18番10号
TEL 0467 (23) 3000 内線2505
FAX 0467 (23) 8700
e-mail : emoni2505@city.kamakura.kanagawa.jp